

病院と在宅の連携に関する意見交換会 ～退院前情報共有チェックリストの活用促進に向けて～

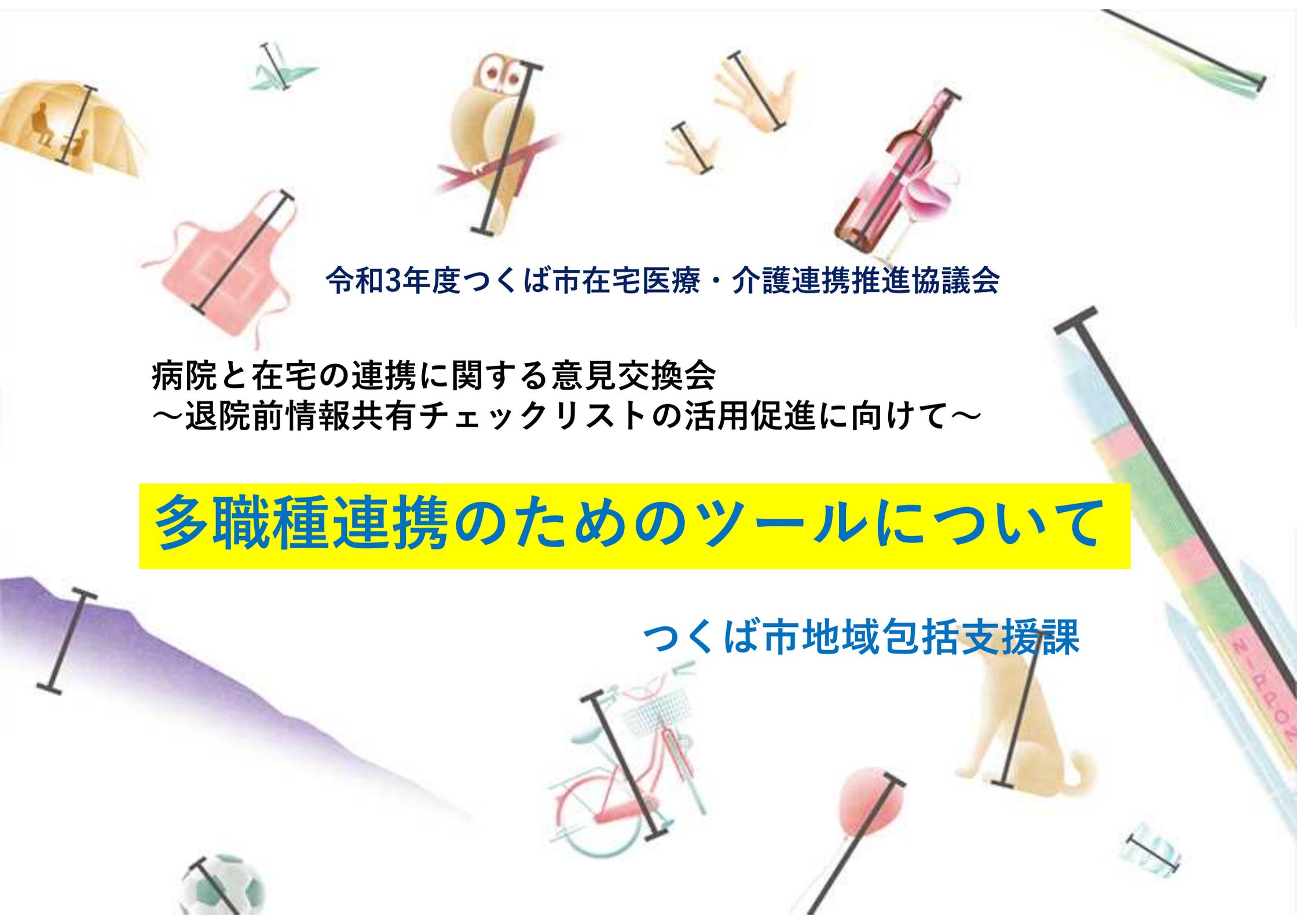
日時：令和3年10月20日（水）

13：00～14：30

《本日の流れ》

- 1 多職種連携のためのツールについて** 13：00～13：15
つくば市地域包括支援課
- 2 退院前情報共有チェックリストの活用事例紹介** 13：15～13：30
つくば双愛病院 退院調整看護師 大石 嘉子 氏
つくば双愛居宅介護支援事業所 倉林奈津江 氏
- 3 グループワーク** 13：30～14：05
テーマ：チェックリストの活用や連携の課題について
- 4 発表・まとめ** 14：05～14：30

お手元に、資料をご準備の上、お待ちください。
各事業所にお届けしているミニ知識もご準備ください。
会議録作成のため、Zoom会議を録画させていただきます。

The background features a collage of various objects, each with a black vertical measurement line and horizontal caps. The objects include a yellow tent, a green butterfly, a brown owl, a pair of hands, a red beer bottle with a glass, a red apron, a purple mountain range, a red bicycle, a red balloon, a tan dog, a green and pink pencil, and a globe. The text is centered in the upper half of the image.

令和3年度つくば市在宅医療・介護連携推進協議会

病院と在宅の連携に関する意見交換会
～退院前情報共有チェックリストの活用促進に向けて～

多職種連携のためのツールについて

つくば市地域包括支援課

つくば市多職種連携のためのツール

つくば市在宅医療・介護連携推進協議会で作成

- ①在宅医療・介護における
本人・家族のための多色連携で気をつけたい10ポイント
- ②つくば市内病院のケアマネ等専門職窓口一覧
(つくば市内医療相談室一覧)
- ③つくば連携タイム一覧
- ④訪問看護ステーション・介護老人福祉施設・
グループホーム・介護老人保健施設の特徴一覧
- ⑤退院前情報共有チェックリスト



在宅医療・介護における 本人・家族のための多職種連携で気をつけたい10ポイント 退院前情報共有チェックリスト等 ツール作成 プロセス

〈 背景・課題 〉

個々の連携はできている。

個と個の連携 → 職能団体間の連携促進へ

〈 プロセス 〉

- ・つくば市在宅医療・介護連携推進協議会
「**多職種間における事業所等連携マナー・エチケットの作成検討部会**」設置
- ・前年度の**意見交換会で抽出した課題をカテゴリー別に整理**
課題の中には、他職種への要望（＝不平不満）が混在
- ・エチケットもチェックリストも専門職のためでもあるが、1番は**本人・家族に還元できるもの**にする
- ・実務部会実務委員が各所属団体・機関等で意見を集約、再度協議。
- ・R元年度 エチケット、チェックリスト完成
R2年度運用。R3年度状況の確認、評価



1 お互いを尊重し思いやりをもち、ていねいな対応を心がけましょう

- ・職種により立場、制度、関連する法律、必要な情報が異なります。お互いの専門性や各職種の立場を、思いやりをもって理解し、ていねいな対応を心がけましょう。相手に失礼のない身だしなみも大切なエチケットです。
- ・利用者、患者さんに接する時もていねいな対応を心がけましょう。

2 お互いに日常的な情報交換を忘れずに、利用者の情報を共有しましょう

- ・ひとりの利用者に複数の事業所が関わっている場合、他の事業所がどのようにサービス提供しているかお薬手帳やノートなどで情報共有しましょう。『い』『ろ』『は』『に』『す』『めし』に着目して書くとわかりやすくなります。また、利用者の価値観や生き方・治療方針についても共有しましょう。

『い』：移動 『は』：排泄 『す』：睡眠 『ろ』：ふろ 『に』：認知症 『めし』：食事

3 看取りの時は家族の揺れる気持ちを多職種で支えましょう

- ・在宅看取りが近づくと家族の気持ちは大きく揺れます。揺れる気持ちを多職種で理解し、情報共有しながら、利用者や家族を支えましょう。看取りの時期には特に気をつけて、密に情報共有を行いましょう。

4 専門用語は使わず、わかりやすい言葉を使いましょう

- ・医療職も介護職も、自分の業種以外の専門用語には慣れていません。専門用語を使わず、わかりやすく、ゆっくり、はっきり説明しましょう。

5 利用者の名前はフルネームで、自分の名前と所属をはっきり伝えましょう

6 どの程度急ぐ用件か考えて連絡しましょう

- ・それぞれ時間が限られた中で仕事をしています。急ぐ用件でなければ、ゆっくり対応出来るとゆとりができます。どの程度急ぐ用件か判断して、医師には「連携タイム」を活用するなどして連絡しましょう。電話の際は、「今お話できますか？」等確認すると良いでしょう。
- ・緊急時も含め担当者不在時の連絡体制は事業所ごとに整理しておきましょう。代理の職員が決定したり、連絡がつく体制を整えておきましょう。

7 医療機関への訪問の前にはアポイントメントをとりましょう<ケアマネ等>

- ・病院には「つくば市内病院のケアマネ等専門職窓口一覧」・クリニック等の医療機関には「つくば連携タイム」を見て連絡を取りましょう。
- ・病院などの医療機関ではアポイントメントのない訪問には、対応しにくい場合があります。

8 介護サービス事業所やかかりつけ医師にサービス担当者会議、退院前カンファレンスへの参加の声掛けをしましょう <ケアマネ、退院調整看護師、ソーシャルワーカー>

- ・緊急でない場合の担当者会議はあらかじめ十分な日程調整を行い、出席ができない方に対しては事前に照会をするとともに、「退院前情報共有チェックシート」を参考に準備しておきましょう。なお出席できなかった方への情報提供も行いましょう。退院日のメドを早めにケアマネジャーに知らせましょう。

9 書類は提出日を意識して、ていねいにわかりやすく書きましょう <医師>

- ・書類として、主治医意見書、訪問看護指示書、訪問薬剤指導指示書などがあります。病歴や服薬の状況があると参考になります。

10 緊急を要する症状や状態などをケアマネジャーや訪問看護師へ知らせておきましょう。急変時の連絡先や対応方法なども示しましょう <医師>

病院の連絡先・送付先が分からない

〇〇市には病院窓口一覧がある
報告連絡相談の連携がしやすい！

協議会委員
退院調整看護師
CM

H30介護報酬改定
主治医に対するケアプラン交付義務

H30介護報酬改定
入院時情報連携加算
退院・退所加算

医療機関	〒 所在地 TEL FAX	連携窓口及び担当者 (対応可能な曜日・時間帯)	居宅サービス計画、照会等 対応窓口	入院時の情報提供窓口 (対応可能な時間帯)	退院時の情報提供窓口 (対応可能な時間帯)
筑波大学附属病院	〒305-8576 天久保2-1-1 TEL029-853-3900(代表)	医療連携患者相談センター TEL029-853-3906(直通) FAX029-853-3584 月～金8:30～17:15 土日 祝日休み	郵送にて 医療連携患者相談センター 宛て	持参の場合:ご家族に確認の上病棟 郵送の場合:医療連携患者相談センター FAXの場合::医療連携患者相談センター(029-853-3584)	・医療連携患者相談センター ・各入院病棟等(主に患者の疾患に関すること、代表にTEL)
筑波記念病院	〒300-2622 要1187-299 TEL029-864-1212(代表)	医療相談室 FAX029-864-1931(直通) 月～金8:30～17:30 土8: 30～12:30 日曜祝日休み	筑波記念病院 外来受付宛	医療相談室 退院支援看護師・ソーシャルワーカー 又は入院病棟看護師 月～金 9:00～17:00	医療相談室 退院支援看護師・ソーシャルワーカー 月～金 9:00～17:00

第8期高齢者計画アンケート（令和元年度実施）連携タイムを活用したことはありますか
 活用できる13.5% 使ってみたが活用できなかった7% **使っていない77.8%**

つくば連携タイム一覧(訪問・在宅医療を実施しているクリニック)

Check Point !	医療機関 (医師名)	平時に医師が対応できる時間帯 (目安) ※対応できる時間を記載	休診日	連絡先				
				所在地	電話	FAX	メールアドレス	窓口 対応者名
1	青空ホームクリニック 鯨井 正規	月 9:00~18:00 火 9:00~18:00 水 9:00~18:00 木 9:00~18:00 金 9:00~18:00 土 日	土日祝日	春日2-3-17	875-4804	896-8850		泉谷

在宅医療の取り組み(対応可○、対応不可×、応相談△)										在宅医療診療内容										その他 (専門職へのメッセージ等)			
訪問診療	外来かかりつけ患者の往診	夜間休日・緊急連絡の往診	夜間休日・往診	主治医意見書	訪問看護指示書	カンファレンス参加	退院前参加	担当者会議のサービス	褥瘡管理	カテーテル	膀胱留置	経管栄養	人工呼吸器	在宅酸素	在宅中心静脈栄養	点滴の管理	人工肛門の管理	人工膀胱の管理	疼痛管理		モニター測定	終末期医療の対応	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	基本的にいつでも可。診療所にお電話ください。診察中などの場合は折り返します。連絡は診療所に下されば対応は致します。

Check Point !

令和元年度 訪問看護ステーション、介護老人福祉施設 在宅・施設サービスの特徴を調査

令和2年度 グループホーム、介護老人保健施設を追加調査

グループホームの特徴

グループホーム名	対応可能なケア										備考
	看護師による健康管理	バルーンカテーテル	治療食の対応	胃瘻	リハビリ専門職による機能訓練	協力医療機関以外への通院介	褥瘡ケア	訪問診療との連携	訪問看護との連携	看取り	
1グループホーム作谷長寿館	○	○	×	×	×	○	○	○	×	△	夜間、看護師の巡回があり、体調の変化等に応じ、相談や直接対応してくれる体制を整えています。
2グループホームデルフィ	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	重症化になると他の施設、病院等へと移って頂いています。
3グループホームいちさと筑波	○	×	×	×	△	○	○	○	○	×	連携医院ならびに訪問看護ステーションとインターネットなどを通じ、常に情報を共有しています。
4グループホームつくしの森	○	×	×	×	×	○	○	○	×	△	看取りは医療的ケアや痛み等なく自然な形での看取りが出来る場合のみご家族と相談しながら対応可能です。
5グループホームみどりの森	○	×	×	×	×	○	○	○	×	△	看取りは医療的ケアや痛み等なく自然な形での看取りが出来る場合のみご家族と相談しながら対応可能です。

Check Point !

介護老人保健施設の特徴

施設名	対応可能なケア													特徴	
	在宅酸素	夜間の痰の吸引	気管切開	バルーンカテーテル	ストーマ	胃瘻	経鼻経管栄養	IVH(中心静脈栄養)	人工透析	インシュリン注射対応	褥瘡ケア	看取り	治療食の対応		人工呼吸器
1 介護老人保健施設 豊浦	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	
2 介護老人保健施設 アリエッタ	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	
3 介護老人保健施設 なでしこ	○	○	△	○	○	○	×	×	△	○	○	○	○	×	令和3年4月からST在籍し、歯科医師、歯科衛生士と連携予定。
4 医療法人健佑会 つくばリハビリテーションセンター	○	△	△	○	○	○	△	×	×	○	○	○	○	×	在宅強化型施設として充実したリハビリが可能であり、PT、OT、STが常勤で勤務している。
5 介護老人保健施設 つくばケアセンター	△	○	×	○	○	○	○	×	×	△	○	○	○	×	一日でも長く、住み慣れた地域で生活を送るために、入所、通所、訪問等、専門のスタッフがお手伝いをします。
6 介護老人保健施設 プレミエール元気館	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	PT、OT、STによるリハビリの充実。通所リハビリ・訪問リハビリ併設のため、在宅サービス利用に繋がりやすく連携が図れる。
7 介護老人保健施設 そよかぜ	○	○	△	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	状況に応じ、併設医療機関との連携を図りながらサービスの提供を行っています。
8 介護老人保健施設 ひまわり	○	○	×	○	○	○	△	×	×	○	○	○	○	×	

Check Point !



退院前情報共有チェックリスト

名前	所属	職種	名前	所属	職種
	病院 ID 本人病室番号	本人			
		家族			

年 月 日

<今日話し合うこと (30分目標)>

1 本人・家族の希望と心配
 ・退院に向けて、病院に聞いておきたいこと、ケアマネ等をお願いしたいこと（事前に考えておいてください）

2 在宅支援者（ケアマネ・ヘルパー等）からの質問意見
 家の見取り図
 トイレ等の状況
 お風呂の状況
 主たる介護者など

3 緊急時の対応
 患者や家族は体調が変わった時の緊急連絡先を知っているか

<知っておきたいこと>

- ・状態像のポイント（入院前・現在の状況の変化等）
- ・ADL改善の余地（有・困難・維持等）
- ・移動と移乗、入院中のリハビリテーション
- ・食事の内容と食事介助の方法
- ・排泄
- ・寝具と体位交換、皮膚トラブルの有無
- ・入院中の入浴・保清の方法と頻度
- ・睡眠・更衣・口腔ケア・その他
- ・認知機能・精神面
- ・かかりつけ医師、歯科医師、薬局の有無
- ・必要な医療処置の有無
- ・行なっている医療処置
 必要な医療器具（インスリン等）・福祉機器はあるか。また、使い方は習得できているか
 自宅に帰ってから使用する消耗品の有無、具体的購入方法について
- ・介護指導の内容と計画
 介護方法・介助方法は習得できているか
 認定
 ケアプラン
- ・定時薬と頓用薬
 必要な定時薬・頓用薬は処方されたか
 薬管理
- ・退院日・退院後の日程

<作成経緯>
 本人、家族、病院と在宅側、知りたい情報と伝えたい情報一致している？

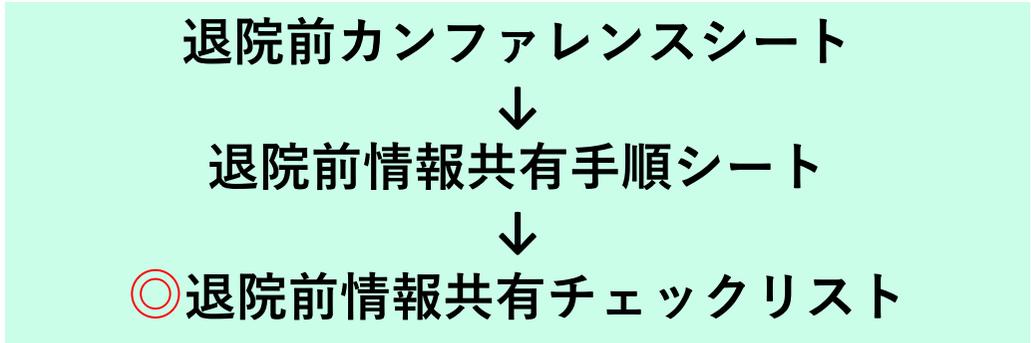
経験が少ないスタッフでも、チェックリストがあれば、会議の進行ができる

各病院、事業所には既にカンファレンスに使用するシートがある。つくば市統一の書式はハードルが高い。

退院前カンファレンスに参加する際、退院前情報共有チェックリストを是非、ご活用ください。

必ず使わなければならないシートではありませんが、**利点や効果**があります。

退院前情報共有チェックリスト 上



Check Point !

Check Point !

退院前情報共有チェックリスト

名前	所属	職種	名前	所属	職種
	病院 ID	本人			
	本人病室番号				
		家族			

入院患者の情報管理
診察券番号等 個人IDを確認

退院前情報共有チェックリスト 左側

Check Point !

年 月 日

< 今日話し合うこと (30分目標) >

1 本人・家族の希望と心配

・退院に向けて、病院に聞いておきたいこと、ケアマネ等をお願いしたいこと (事前に考えておいてください)

2 在宅支援者 (ケアマネ・ヘルパー等) からの質問意見

家の見取り図

トイレ等の状況

お風呂の状況

主たる介護者など

3 緊急時の対応

患者や家族は体調が変わった時の緊急連絡先を知っているか

全部
大事なこと

- ・ 本人、家族の希望と心配
本人の想いを知る場
- ・ 病院の医師は忙しい 短時間の会議
- ・ 退院カンファレンス協議の中心は、在宅スタッフが確認したいこと
- ・ 具合が悪くなった時の対応方法

退院前情報共有チェックリスト 右側

Check Point !

会議で必ず確認することではないが在宅側参加者が確認したいことを退院情報前共有チェックリストの右側に集約。

病院側も在宅側も共通のチェックリストで、情報提供、情報確認ができる。

カンファレンスの次第として活用

<知っておきたいこと>

- ・状態像のポイント（入院前・現在の状況の変化等）
- ・ADL改善の余地（有・困難・維持等）
- ・移動と移乗、入院中のリハビリテーション
- ・食事の内容と食事介助の方法
- ・排泄
- ・寝具と体位交換、皮膚トラブルの有無
- ・入院中の入浴・保清の方法と頻度
- ・睡眠・更衣・口腔ケア・その他
- ・認知機能・精神面
- ・かかりつけ医師、歯科医師、薬局の有無
- ・必要な医療処置の有無
- ・行なっている医療処置
- 必要な医療器具（インスリン等）・福祉機器はあるか。また、使い方は習得できているか
- 自宅に帰ってから使用する消耗品の有無、具体的購入方法について
- ・介護指導の内容と計画
- 介護方法・介助方法は習得できているか
- 認定
- ケアプラン
- ・定時薬と頓用薬
- 必要な定時薬・頓用薬は処方されたか
- 薬管理
- ・退院日・退院後の日程

1 調査内容

- (1) ICTを使った情報連携についての実態把握
- (2) 連携ツールについての実態把握
- (3) ミニ知識についての実態把握

2 対象者

- ・連携タイム掲載病院の医師
- ・つくば市内訪問看護ステーションの看護師
- ・つくば市内居宅介護支援事業所のケアマネジャー
- ・つくば市内病院のケアマネ等専門職窓口一覧掲載病院の退院支援調整部門の看護師
- ・つくば市内病院のケアマネ等専門職窓口一覧掲載病院の退院支援調整部門のソーシャルワーカー

- ## 3 調査方法
- いばらき電子申請システム上で回答
以下のURL又はQRコードからアクセスをお願いします。
<https://bit.ly/3oMRt6q> (短縮URL)



- ## 4 回答期限
- 令和3年(2021年)10月31日(日) 23:59

事例紹介

退院前情報共有チェックリストの活用事例紹介

13：15－13：30

つくば双愛病院 退院調整看護師 大石 嘉子 氏
つくば双愛居宅介護支援事業所 倉林奈津江 氏



グループワーク

グループワーク 13:30~14:05

GWテーマ：チェックリストの活用や連携の課題について

- ①自機関・事業所におけるチェックリスト活用の有無、活用方法。
カンファレンスの意義、現状、課題について

- ②課題の改善について

グループワークのお願い
進行、発表者、記録者の決定

発表・まとめ

14:05-14:30

各圏域より発表
協議会実務委員、CM会さん等からのコメント
まとめ

意見交換会終了後のお願い

- ・記録の方は記録用紙を地域包括支援課にメールかFAXで送付
- ・アンケートのお願い

